



第13回比較防災学ワークショップ

13th Workshop for "Comparative Study on Urban Mega Disaster Management"

みんなで防災の知恵を共有しよう



平成24年度第4回災害対応研究会 公開シンポジウム

「国難と都市災害：来るべき国難にどのように備えるべきか」

2013年1月21日(月)14:00~16:30 - 1月22日(火)10:00~16:00

神戸国際会議場 5F 501号室

趣 旨： 科学研究費補助金・基盤研究S『「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策』、および文部科学省委託事業『都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト「3. 都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」』の研究成果をもとに、来るべき南海トラフ地震対策を考える。

主 催： 京都大学防災研究所・巨大災害研究センター／
関西大学社会安全研究センター

共 催： 災害対応研究会

後 援： 日本自然災害学会・地域安全学会・日本災害情報学会
科学研究費補助金・基盤研究S『「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策』
文部科学省委託事業『都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト
「3. 都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」』

参加料： 無料

定 員： 140名（当日先着）

プログラム：

【1月21日】 「何をめざすか」について研究代表者が語る *変更がある場合もあります。(敬称略)

14:00~14:10	開会挨拶 関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭
14:10~15:10	基調講演1 『「国難」となる最悪の被災シナリオと減災対策』研究代表者 関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭
15:10~16:10	基調講演2 『都市の脆弱性が引き起こす激甚災害の軽減化プロジェクト「3. 都市災害における災害対応能力の向上方策に関する調査・研究」』研究代表者 京都大学防災研究所 教授 林 春男
16:10~16:30	質疑応答

【1月22日】 「研究の最前線をさぐる」

10:00~10:40	「東海・東南海・南海地震と地域の持続性」 京都大学防災研究所 准教授 牧 紀男
10:40~11:20	「大都市巨大災害の経済被害と復興対策」 関西大学社会安全学部・大学院社会安全研究科 准教授 永松伸吾
11:20~12:00	「新しい南海トラフ巨大地震・津波の想定にみる国難」 京都大学防災研究所 助教 鈴木進吾
12:00~13:00	(昼食休憩)
13:00~13:40	「防災リテラシーハブが目指すもの」 兵庫県立大学環境人間学部 准教授 木村玲欧
13:40~14:20	「今後の防災対策を考える上での重要なポイントと効果的な防災計画やアクションプランの作成と実施法について」 東京大学生産技術研究所 教授 目黒公郎
14:20~15:00	「被災者台帳を用いた総合的な生活再建支援」 新潟大学 危機管理室 教授 田村圭子
15:00~16:00	パネルディスカッション モデレーター：関西大学社会安全研究センター センター長・教授 河田恵昭 パネリスト：話題提供者全員 閉会挨拶 京都大学防災研究所 教授 林 春男

この事業は、「公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構」と「ひょうご安全の日推進県民会議」の助成を受けて実施しています。

● 神戸国際会議場 ●

<http://kobe-cc.jp/access/index.html>

神戸市中央区港島中町 6-9-1 TEL : 078-302-5200

- JR 三ノ宮駅からポートライナーで(市民広場駅下車)で 10 分
- JR 新神戸駅から地下鉄(三宮駅乗り換え)ポートライナーで 20 分
- 神戸空港からポートライナーで(市民広場駅下車)で 8 分
- 関西国際空港からリムジンバス(三宮乗り換え)ポートライナーで 80 分
- 関西国際空港からベイ・シャトルで神戸空港まで 29 分
- 大阪(伊丹)国際空港からリムジンバス(三宮乗り換え)ポートライナーで 55 分
- 阪神高速 3 号神戸線京橋出口から車で 13 分

